

&lt;報道関係者各位&gt;



グリム兄弟の実像にせまる  
**「グリム童話200年のあゆみ」シンポジウム開催**  
 ～日本とドイツの架け橋として～

挿絵等の貴重な作品を紹介するパネル展示も開催

日時：2012年10月20日（土）12：30～18：30（受付：11：30～）

パネル展示 2012年10月15日（月）～20日（土） ※20日のみ特別展示

会場：東洋大学 白山キャンパス5号館 井上円了ホール（井上記念館 B2F）

東洋大学（文京区白山／学長・竹村牧男）は、東洋大学創立125周年『グリム童話』刊行200年記念国際シンポジウム「グリム童話200年のあゆみ～日本とドイツの架け橋として～」を10月20日（土）に開催します。

今回のシンポジウムは、今から200年前にドイツで編纂されたグリム童話が、日本に浸透してきた背景や、そこに使われている挿絵の歴史など作品にまつわる逸話をはじめ、グリム兄弟の生い立ちや実像にせまります。

また、同日、学内の井上円了記念博物館にてドイツ・グリム兄弟博物館の特設展示もいたします。

本学では創立125周年を記念して、今後も様々なイベントを開催して参ります。



【「グリム童話200年のあゆみ—日本とドイツの架け橋として—」概要】

- 日時：2012年10月20日（水）12：30～18：30（受付：11：30～）
- 会場：東洋大学白山キャンパス5号館 井上円了ホール（井上記念館B2F）
- 次第：
  - ①挨拶 ドイツ学術交流会東京事務所所長 ホルガー・フィンケン博士
  - ②導入講演（12：50～13：20）  
グリムへのいざない 東洋大学准教授 大野寿子
  - ③基調講演Ⅰ（13：20～14：30）  
マールブルク？「だがこの町自体はひどく醜い」  
—グリム兄弟と故郷ヘッセンとの相対的関わり—  
チューリヒ大学教授 ハルム＝ペア・ツィンマーマン博士
  - ④基調講演Ⅱ（14：50～16：00）  
文字から図像へ  
—19～20世紀における『子どもと家庭のためのメルヒェン集』挿絵の歴史—  
カッセル・グリム兄弟博物館館長 ベルンハント・ラウアー博士
  - ⑤シンポジウム『グリム童話』研究がつかなく過去と未来（16：30～18：30）
    - 1.メルヒェンの世界観・伝説の世界観—変身譚を中心に
    - 2.明治期における『グリム童話』の翻訳と受容
    - 3『グリム童話』と比較民話学

■料金：無料 ※申込必要・抽選制

- 応募方法： 聴講には事前に申し込みが必要です。  
※応募者の中から抽選で300名をご招待いたします。
- ・WEB <http://yomiuri.oh-bo.net/>  
上記URLにアクセスし、申し込みフォームに必要事項を記載してください。
  - ・はがき「東洋大学 記念講演」読売事務局宛に下記明記の上お送りください。  
①郵便番号・住所②名前／ふりがな③年齢④性別⑤職業⑥人数  
※応募者多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。  
当選者の発表は、聴講券の発送（10月10日発送予定）をもってかえさせていただきます。（応募者の個人情報、聴講券発行の目的以外に使用しません）
- お問い合わせ先： 東洋大学 記念講演 読売事務局  
住所：〒104-0061 東京都中央区銀座1-5-8 7階  
電話：03-3564-1378まで（受付時間 平日10：00～17：00）  
※電話でのお申し込みは受け付けておりません。

※東洋大学ホームページにも掲載しています。 [http://www.toyo.ac.jp/event/detail\\_j/id/6196/](http://www.toyo.ac.jp/event/detail_j/id/6196/)

【特設展示開催概要】  
グリム童話誕生から200年を記念し、本学で行われるシンポジウムと同時期にパネル展示を開催します。  
10月20日（土）には、初版オリジナル本や冊子の挿絵など、貴重な作品も特別に展示します。

- 期 間： 2012年10月15日（月）～20日（土）※20日は特別展示を開催  
■開 館： 9：30～16：45  
■会 場： 東洋大学白山キャンパス 井上円了記念博物館  
■入場料： 無料

※特設展示は期間中、申込不要で閲覧できます。

- 主 催： 東洋大学  
■共 催： 読売新聞東京本社  
■後 援： ドイツ連邦共和国大使館、ドイツ学術交流会（DAAD）、公益財団法人日独協会、  
マールブルク市、グリム兄弟博物館（カッセル）、グリム兄弟協会、日本グリム協会、ダイヤモンド・ビッグ社

【報道関係者からのお問い合わせ先】

東洋大学PR事務局（株式会社イニシャル内）担当：後藤、大迫、渡辺  
TEL：03-5572-6062 FAX：03-5572-6065 MAIL：[toyodaigaku@vectorinc.co.jp](mailto:toyodaigaku@vectorinc.co.jp)